

星屑

Feb 1998
No. 275



またたび

お父さんはっかいあるい！！
あんまいかじると、また虎になるよ！！！



熊本県民天文台

1998年は 大流星雨の年？

県民天文台も、きっと大隆盛！？

年頭ご挨拶

台長 艶島 敬昭

新しい年

1998年の年明けを、皆様どのように迎えられましたでしょうか？

天体観測の必携カレンダー・観測ハンドブックとしてお世話になっている「天文年鑑」が、1998年号で創刊50年になったそうです。半世紀という節目を迎えて、これから新しい感覚で発行を続けられると期待しています。

今年は、11月17・18日頃のしし座流星群に「大流星雨」出現の期待がかかっていることはすでにご存じのことでしょう。また、1999年のヨーロッパ日食への話題も大いに盛り上がってくると予想されます。

昨年の活動を振り返りながら、新しい年への期待を探ってみましょう。

昨年の大仕事をふりかえって

さて、私たちの熊本県民天文台は、昨年は開設15周年でした。しかしヘル・ボップ彗星の観測や観望に

追われることが分かっていたので、特に記念行事などを予定しませんでした。幸い、観測が一段落した夏頃、城南町の歴史民俗資料館より、例年秋に行っている「特別展」を今年は趣向を変え、考古資料ではなくヘル・ボップ彗星などの写真展として企画できないだろうか？というご相談がありました。

これはよい機会だと考え、最近取り組み始めた、パソコンで画像処理した写真を中心とした展示会を企画提案しました。町の了解がもらえたので、会員の皆さんのが撮影された写真を送っていただき、中島副台長の協力でスキャナーを使ってコンピューター画像へと変換していただきました。

ここ数年、画像処理に取り組んできましたが、昨年のヘル・ボップ彗星画像から、データの量が一気に増えました。

白黒CCD画像の時、1枚の画像は1メガバイト以下でした。カラーCCDでは1枚3メガバイトになり、フロッピーディスクに入らなくなりました。今回の写真展では、スキャンした写真的データは1枚30メガバイトを超えてしました。

当初使っていた、1枚128メガバイトのMOにも、たった4枚の写真しか保存できないのです。

それで、データ保存には230メガバイトMO、640メガバイトMO、CD-R、更には数ギガバイトの脱着式ハードディスクなどが総動員されることになりました。

画像処理した写真的データは、当初、出力業者に頼んでプリントしてもらう予定でした。自分たちでプリントするのでは、大変な手間と時間がかかりますし、しかも、大きなサイズにできません。

しかし、業者に頼んで大きなサイズにプリントしてもらうには、とても予算が足りません。

展示会場は、立派な展示室が2部屋も用意してあるのですから、A4サイズのプリントではどうにもなりません。せめて、全紙サイズ以上のプリントを多数展示したいのです。ちょっと悩んでいました。

その時、「カラープロッターで出力した画像を見たヨ、解像度はいまいちだけど、大きさがあるから、遠くから見るのには良いかも」という話を聞き込み、ふと、職場にある製図用のカラープロッターが利用できないかと考えました。

何度か試行錯誤を繰り返すうちに、素晴らしい品質のプリントを出力できるようになり、結局、展示画像は全て自分たちでプリントしてしまいました。

膨大な量のインクを消費しましたが、製図用のインクは色あせも少なく、資料館スタッフの方々の素晴らしい展示技術のおかげで「今までこんな立派な天体画像展はない」といえるような見事な展示会ができました。

県民天文台の活動をバックアップして下さる城南町の力添えのおかげだと感謝しています。

次世代に残す

せっかくの観測画像も、ブームが去っていくとともに忘れられ、埋もれてしまいがちです。何とかまとまった形で保存し、再利用できるようにしたいと、インターネット・ホームページ制作にも取り組んでいることは、何度か記事にしているのでご

今年への期待

存じでしょう。

昨年の展示会の出典画像は、図録の形で出版する事ができ、本当に助かりました。

しかも、展示会用に画像処理を行ったおかげで、念願のヘール・ボップ彗星画像集のための画像処理が一気ににはかかり、97年末までにCD-ROM画像集編集作業をおおかた仕上げることができました。

このCD-ROMには、ヘール・ボップ彗星発見直後の95年夏から、ヘール・ボップが熊本の空から完全に見えなくなった97年11月まで、2年4ヶ月間の全観測画像1000枚ほどを収録しています。

白黒CCD画像、カラーCCD画像、ビデオからの画像、素晴らしいカラーワ写真など

ヘール・ボップをいろんな方法でとらえた、貴重な資料になるでしょう。

会員の皆さんから、数多くの写真や画像を提供いただき本当にありがとうございました。初めての試みですが、このような、会員の皆さんのが「星空を楽しむ」活動の足跡を、次世代に伝える作業が、多くの活動的な天文ファンを育てることにつながるよう期待しています。

2年続けて大彗星が登場したのですから、今年も！と期待するのは欲張りでしょうか？

2月の南米日食には、出かけられそうもありませんからじっと我慢して、長野オリンピックをテレビ観戦しましょう。

11月のしし座流星群には、盛大な流星雨の出現を期待しましょう。

11月までは何をするのかって？
それは良い質問です！

ヘール・ボップCD-ROMが出来たんですから、次は懸案のハレー彗星スケッチ集に手を着けたいですね。また、これまでに撮りためたビデオ映像の整理にも、スライド番組の整理にもチャレンジしたいですね。

昨年までの雰囲気としてのブームとしてではなく、実際に活用する段階に、今年はインターネットも広がってくるでしょう。

今年こそ、これまでのチャレンジが花開くとしになりそうな予感がしています。

では、天文台で、ホームページで、お目にかかりましょう。お待ちしています。

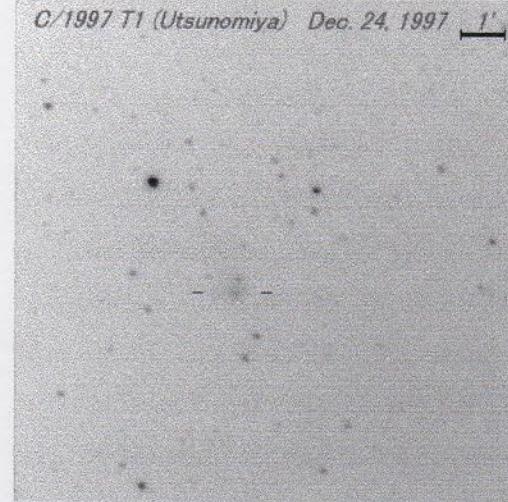
COMET PAGE**Dec. 1997**

by Porco Nisse (KCAO)

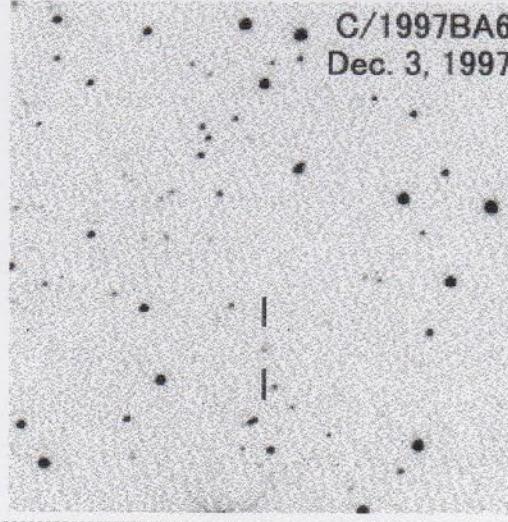
このページは、1997年12月に観測した彗星の紹介です。

12月は8夜の観測となりました。これは熊本の冬としては悪い数ではありませんが、よい透明度の夜は3夜にとどまりました。興味深い星が多かったので無理して観測した結果でもあります。

クリスマス・イブは階下の大宴会にも加わらず観測を実行しました…偉いでしょう。

C/1997 T1 (Utsunomiya) Dec. 24, 1997 1'

**C/1997BA6
Dec. 3, 1997**



☆獅子座流星群の母天体テンペル・タットル彗星

55P/Tempel-Tuttle Dec. 10, 1997

1'

★ C/1997 T1 (Utsunomiya)

夕方低く見えていたのですが、天気が悪くあまり見る機会がないまま見えなくなりました。12月24日が最終観測です。11月末には明け方の空に見えきました。画像は20秒露出2枚のコンポジット画像です。

★ C/1997 BA6 (Spacewatch)

去年の1月31日に小惑星として発見された後、コマが見つかって彗星として登録された星です。近日点通過が1999年の11月なので当分観測できるはずです。41cmの画像でも明らかに恒星状ではないことがわかります。

★ C/1997 V1 (Larsen)

この星は離心率が0.33と小さいため、ゆっくりと減光中です。位置が良いためにまだKCAOでも観測続行中です。画像は180秒露出2枚の合成です。

★ 029P/Scheassmann-Wachmann 1

明け方の空に見えてきました。12月28日の画像では大きく拡散したコマ(5'角以上あります)が写りました。相変わらず目の離せない星です。

★ 43P/Wolf-Harrington

さすがに淡くなり、写りが悪くなり始めました。でもまだりっぱな尾が見えています。

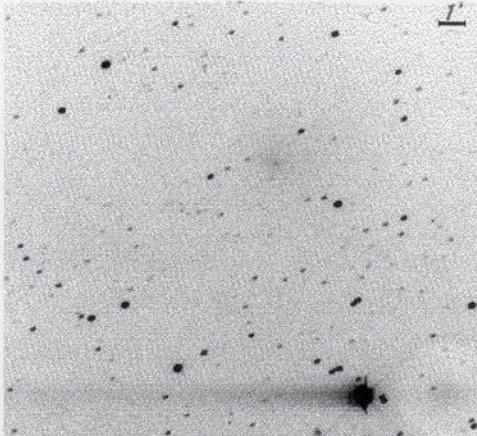
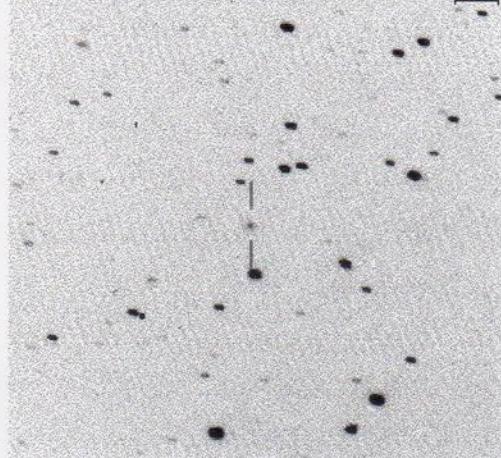
★ 55P/Tempel-Tuttle

11月末に微かな写りの星でしたが、驚くような変化を見せて増光中です。上の10日の画像と次ページ28日の画像とは雲泥の差です。特に薄いコマは青いようでCCDでの写りは悪けれど、眼視では。10等台の報告さえあります。近日点通過は2月28日で1月中旬に地球に接近しますので、これから変化に注目の星です。

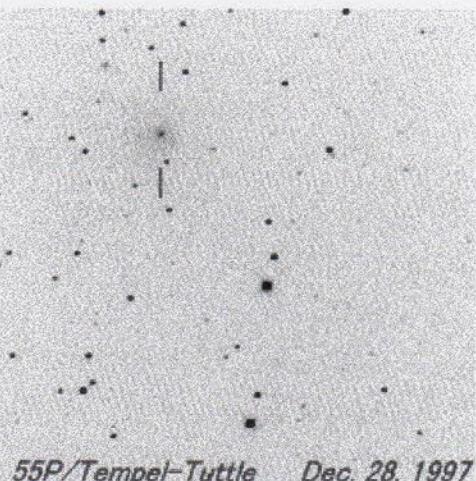
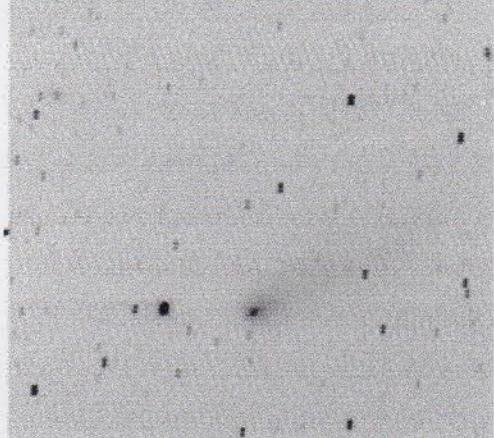
★ Comet page on December

Kumamoto Civil Astronomical Observatory

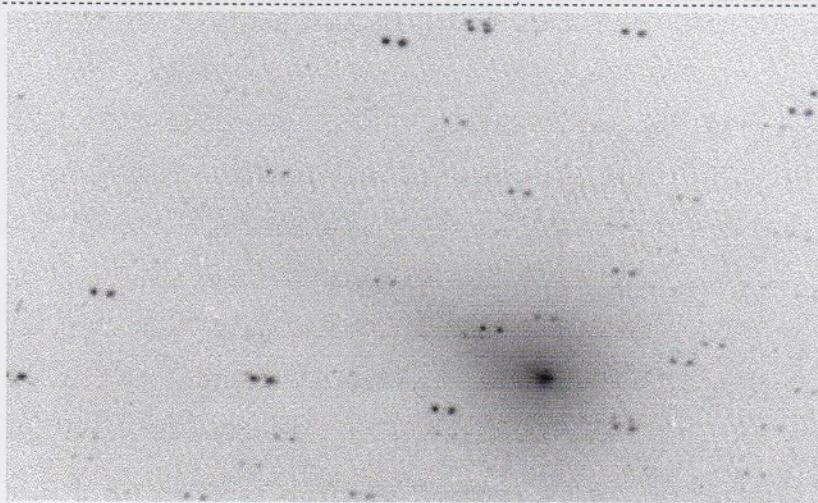
C/1997 VI (Larsen) Dec. 24, 1997 1'



43P/Wolf-Harrington Dec. 26, 1°

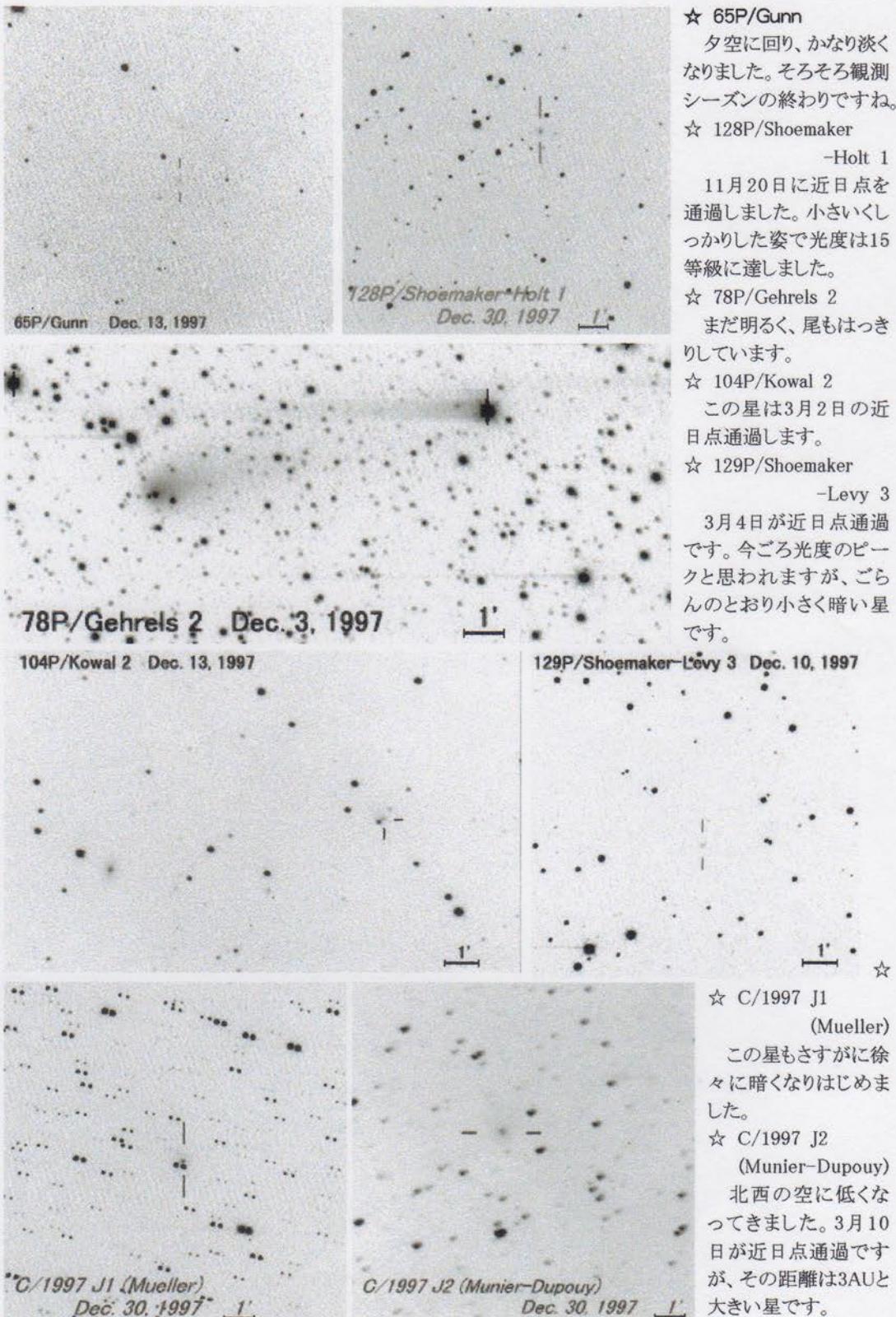


55P/Tempel-Tuttle Dec. 28, 1997



今月の星

8等台になったハートレイ第2彗星です。丸いコマに細く長くタイプIと思われる尾が伸びています。近日点を12月21日に通過し、今が光度のピークで、今後ゆっくりと暗くなります。夕方の南の空に見えますので、観望してみてください。24日



お正月、みなさま如何でしたか？飲み過ぎで、ちょっとお疲れ、なれど方もいるのでは？えっ私ですか？それはもう。。。九州地方ではあいにくの雨、初日の出は見れませんでした。でも、2日は晴れまして、金峰山山頂から見た夕日は、とっても綺麗でした。私のホームページに掲載されています。天文台のホームページから飛んで下さい。天文台のホームページも、新しい写真など、盛りだくさんですよ。是非ご覧下さい。ご存知かと思いますが、天文台の郵便番号もフリーダイアリーあります。変更を御願い致します。新郵便番号 861-4226 になります。

★ 2月の天文現象 & 行事 ★

- 3日（火） 節分
- 4日（水） 立春（09:57） 上弦（07:53）
- 5日（木） おうし座γ星の食（20:51）
- 6日（金） おうし座θ星の食（01:22）
- 11日（水） 満月（19:23）
- 14日（土） トーケアバウト（20:00～）
- 16日（月） 月の距離が最遠（405500km 視直径29'28".2）
- 20日（金） 下弦（00:27）
- 23日（月） 木星と水星が最接近（05:42 01°00'.0）
- 24日（火） 130P/マクリート・ヒュージス彗星の近日点通過（03:*** 周期6.7年）
- 27日（金） 新月（02:26）中南米にて皆既日食
- 28日（土） 月の距離が最近（359080km 視直径33'16".7）
55P/テソペル・タットル彗星の近日点通過（11:*** 周期33.2年）

ヘル・ポップCD-ROM
予約受け付中!!
会員価格 2,000円-
申し込みは 中島まで
0964-28-7383
FAX 0964-26-2525
kcachige@infobears.or.jp

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1998年2月号 通巻275号

発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226

熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台

TEL 0964-28-6060

振替口座 01980-0-24463

熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作

ホームページ http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML